

令和 5 年度

富山県民生涯学習カレッジ運営会議

[資 料]

I 令和 5 年度実績・令和 6 年度予定

(P1～8)

II 富山県民生涯学習カレッジの運営に係る現状と課題

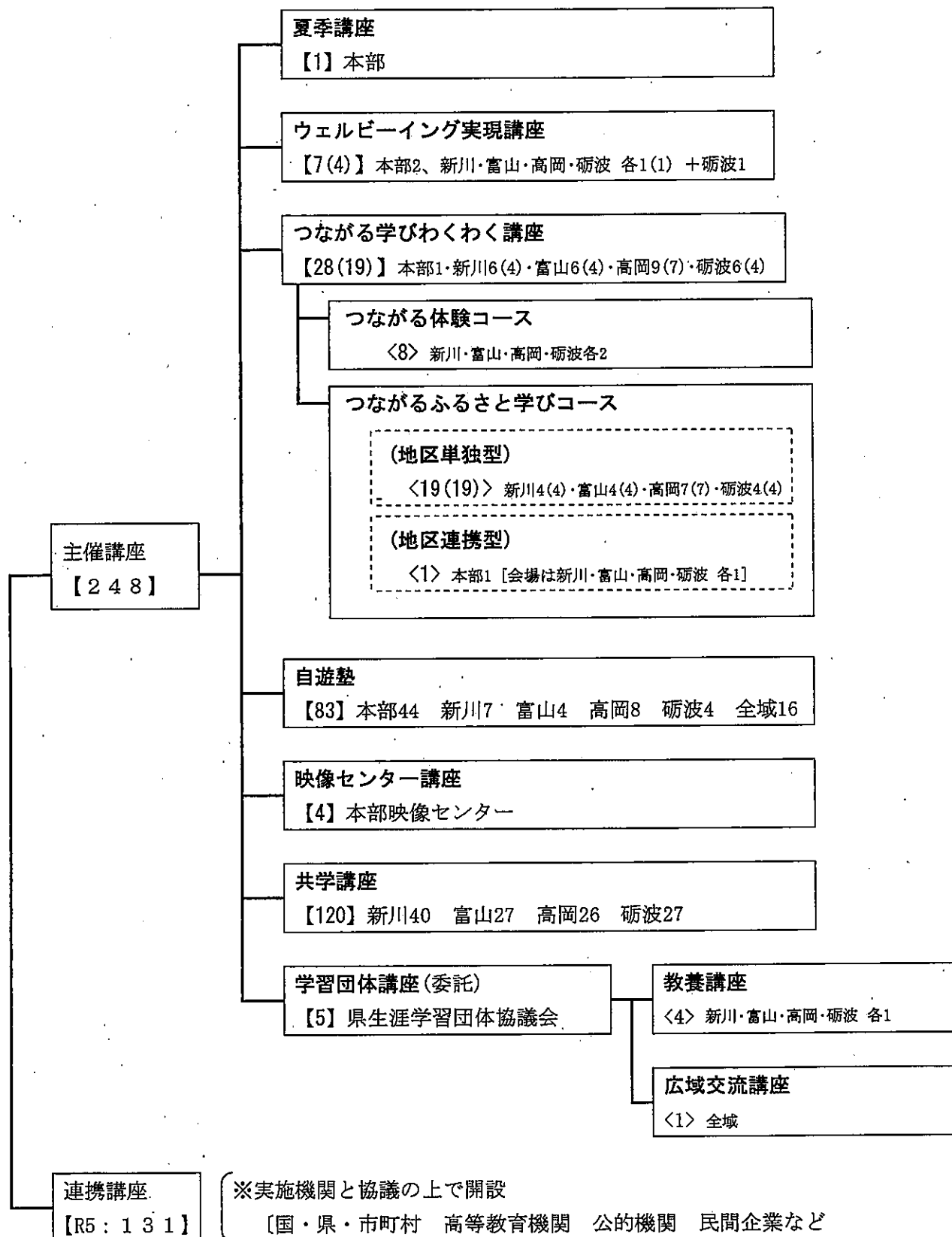
(P9～13)

参考資料 富山県民生涯学習カレッジの概要

I 令和5年度実績・令和6年度予定

1 令和5年度 実施講座

※ 講座数の()は内数で、対面受講に並行してオンライン自宅受講を行う講座数



2 過去3年間の講座数・受講者数の推移

No	年 度		令和3		令和4		令和5	
	講 座 名		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
1	夏季講座(R3は特別講演を含む)		2	312	1	479	1	484
2	人生100年時代 生き方講座		2	440	3	689		
3	ウェルビーイング実現講座 (大型)						3	1,115
4	とやま新時代講座		31	829				
5	つながる学びわくわく講座				28	742	28	889
6	人生100年時代 特別講座		4	117	4	135		
7	ウェルビーイング実現講座 (通年)						4	139
8	自遊塾		80	938	76	917	83	1,138
9	映像センター講座		4	50	4	56	4	67
10	共学講座		122	593	124	599	120	620
11	学習団体講座		4	297	5	335	5	448
	小 計		249	3,576	245	3,952	248	4,900
12	連携講座	実施機関数	18		19		18	
		講座数・定員	112	6,430	117	6,828	131	6,464
	合 計		361	10,006	362	10,780	379	11,364

3 令和5年度 実績
(1) 講座関係

項 目	実 績						
夏季講座	令和5年8月26日(土)に宇宙飛行士の毛利衛氏を招き、「宇宙から見た地球生命の繋がり」と題して講座を開催した。 <table border="1"> <tr> <td>受講者数</td><td>484 名</td></tr> </table>	受講者数	484 名				
受講者数	484 名						
ウェルビーイング実現講座 (大型)	「ウェルビーイング」をテーマに著名人の講義を聴き、これからの時代の生き方を大きな視点で考える講座を開講した。 - 令和5年度は、砺波地区センターが7月8日(土)に富山県知事の新田八朗氏、本部が10月7日(土)に大相撲解説者の舞の海秀平氏、11月25日(土)に作家・歴史家の井沢元彦氏を講師として招いて開催した。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td><td>3 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>1,115 名</td></tr> </table>	講座数	3 講座	受講者数	1,115 名		
講座数	3 講座						
受講者数	1,115 名						
ウェルビーイング実現講座 (通年)	- 地域、健康、居住、人間関係、自然など各分野の観点から、ウェルビーイングを学ぶ講座を各地区センターで開催した。 - 全講座をオンラインで配信した。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td><td>4 講座 (うちオンライン配信4講座)</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>139 名 (うちオンライン受講17名)</td></tr> </table>	講座数	4 講座 (うちオンライン配信4講座)	受講者数	139 名 (うちオンライン受講17名)		
講座数	4 講座 (うちオンライン配信4講座)						
受講者数	139 名 (うちオンライン受講17名)						
つながる学びわくわく講座	- 体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する講座として、「つながる体験コース」および「つながるふるさと学びコース (地区単独型) (地区連携型)」を開催した。 「つながるふるさと学びコース (地区単独型)」は、すべてオンラインで配信し、自宅受講が可能な受講形態とした。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td><td>28 講座 (うちオンライン配信19講座)</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>889 名 (うちオンライン受講111名)</td></tr> </table>	講座数	28 講座 (うちオンライン配信19講座)	受講者数	889 名 (うちオンライン受講111名)		
講座数	28 講座 (うちオンライン配信19講座)						
受講者数	889 名 (うちオンライン受講111名)						
共学講座	高校の授業の一部の科目を、社会人向けに提供し、受講者が高校生と共に学んだ。 <table border="1"> <tr> <td>講座数</td><td>120 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>620 名</td></tr> </table>	講座数	120 講座	受講者数	620 名		
講座数	120 講座						
受講者数	620 名						
映像センター講座	映像制作セミナー、著作権講座などを開催した。 <table border="1"> <tr> <td>開催数</td><td>4 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>67 名</td></tr> </table>	開催数	4 講座	受講者数	67 名		
開催数	4 講座						
受講者数	67 名						
自遊塾	公募によるボランティア講師(県民教授)が講座を開設し、塾生とともに学びあう講座を開催した。 <table border="1"> <tr> <td>県民教授</td><td>63 名</td></tr> <tr> <td>開催講座数</td><td>83 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>1,138 名</td></tr> </table>	県民教授	63 名	開催講座数	83 講座	受講者数	1,138 名
県民教授	63 名						
開催講座数	83 講座						
受講者数	1,138 名						
学習団体講座	生涯学習協議団体に委託し、各地区の教養講座(4講座)と全県対象の広域交流講座(1講座)の計5講座を開講した。 <table border="1"> <tr> <td>受講者数</td><td>448 名</td></tr> </table>	受講者数	448 名				
受講者数	448 名						

項 目	実 績		
連携講座	・市町村・大学・企業など関係機関が、県民カレッジと連携して講座を開催した。修了者には県民カレッジの単位を認定している。		
	連携機関数	開催講座数	定員
	18 機関	131 講座	6,464 名

(2) 事業関係

項 目	実 績																				
学習情報提供	・富山県生涯学習情報提供システム(とやま学遊ネット)を運用し、県民に各種講座等の学習機会・講師・学習団体など、生涯学習情報を提供した。 <table><tr><td>年度</td><td>R3 (年間)</td><td>R4 (年間)</td><td>R5 (4～1 月)</td></tr><tr><td>検案件数</td><td>775, 280 件</td><td>929, 419 件</td><td>(687, 732 件)</td></tr></table>	年度	R3 (年間)	R4 (年間)	R5 (4～1 月)	検案件数	775, 280 件	929, 419 件	(687, 732 件)												
年度	R3 (年間)	R4 (年間)	R5 (4～1 月)																		
検案件数	775, 280 件	929, 419 件	(687, 732 件)																		
学習相談	・各種講座の受講相談や、講師照会・講座内容の企画相談、視聴覚教育・機材の利用、映像制作等についての県民からの相談に対応した。 <table><tr><td>年度</td><td>R3 (年間)</td><td>R4 (年間)</td><td>R5 (4～1 月)</td></tr><tr><td>学習相談件数</td><td>10, 887 件</td><td>13, 387 件</td><td>(11, 655 件)</td></tr></table>	年度	R3 (年間)	R4 (年間)	R5 (4～1 月)	学習相談件数	10, 887 件	13, 387 件	(11, 655 件)												
年度	R3 (年間)	R4 (年間)	R5 (4～1 月)																		
学習相談件数	10, 887 件	13, 387 件	(11, 655 件)																		
本部学遊祭	・10月7日(土)に開催した学遊祭は、県民カレッジ、生涯学習団体協議会、雷鳥会が共催し、県民に対して学習の成果を発表した。ホールでは、「ウェルビーイング実現講座」も行った。 <table><tr><td>年度</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>R5</td><td>979 名</td></tr><tr><td>R4</td><td>578 名</td></tr></table>	年度	参加者数	R5	979 名	R4	578 名														
年度	参加者数																				
R5	979 名																				
R4	578 名																				
地区学遊祭・ キャンパス フェスティバル	・各地区センター講座の受講者等が、日頃の学習の成果を発表することで広く交流した。 <table><tr><td></td><td>年度</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>新川地区センター</td><td>R5</td><td>859 名</td></tr><tr><td>富山地区センター</td><td>R5</td><td>296 名</td></tr><tr><td>高岡地区センター</td><td>R5</td><td>768 名</td></tr><tr><td>砺波地区センター</td><td>R5</td><td>417 名</td></tr><tr><td rowspan="2">計</td><td>R5</td><td>2, 340 名</td></tr><tr><td>R4</td><td>1, 215 名</td></tr></table>		年度	参加者数	新川地区センター	R5	859 名	富山地区センター	R5	296 名	高岡地区センター	R5	768 名	砺波地区センター	R5	417 名	計	R5	2, 340 名	R4	1, 215 名
	年度	参加者数																			
新川地区センター	R5	859 名																			
富山地区センター	R5	296 名																			
高岡地区センター	R5	768 名																			
砺波地区センター	R5	417 名																			
計	R5	2, 340 名																			
	R4	1, 215 名																			
カレッジ叢書	・令和5年度ウェルビーイング実現講座(井沢元彦氏)を叢書117号にまとめ、県内の学校や図書館等に配布する予定である。																				

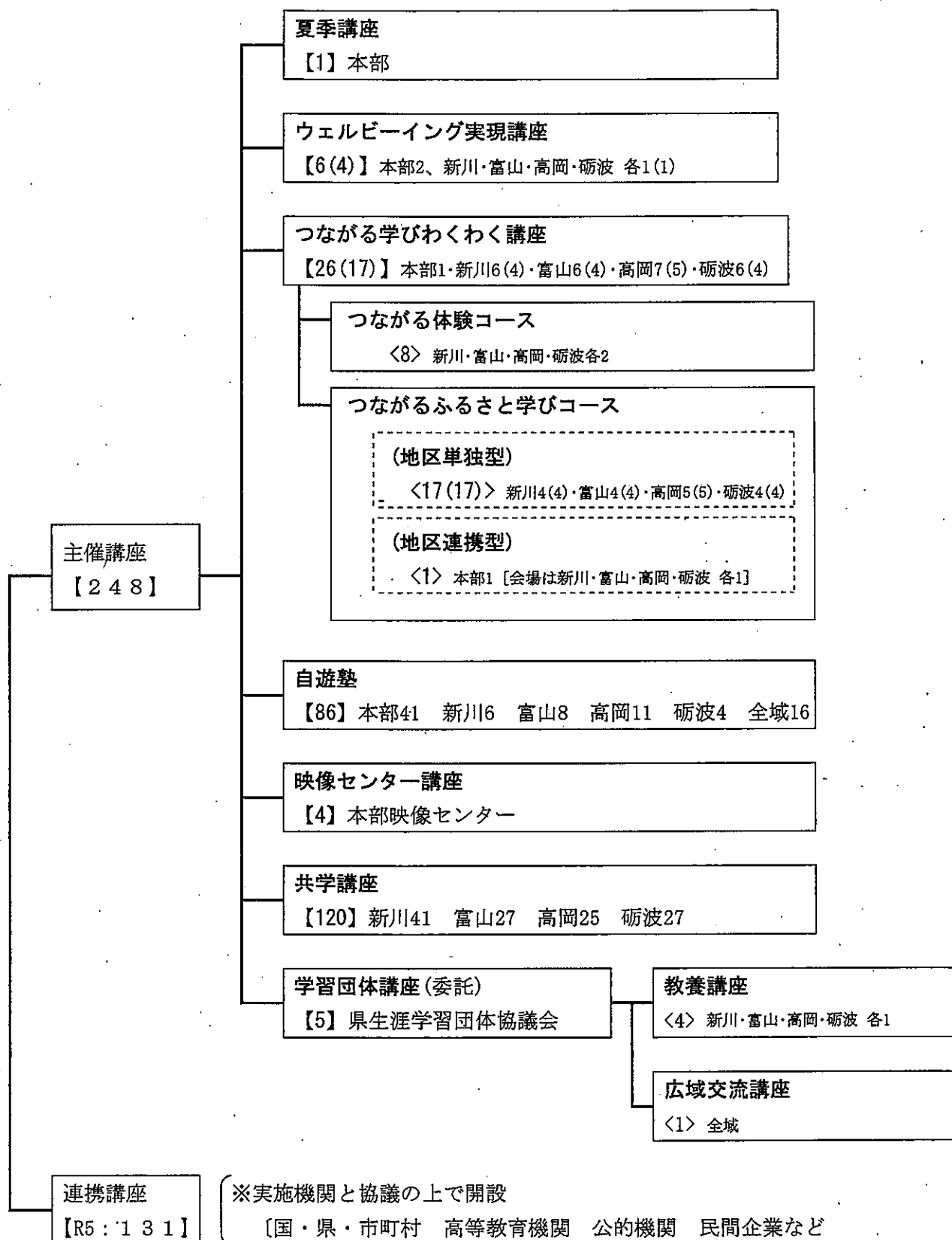
項 目	実 績															
学習活動支援 サービス	・県民カレッジの講座受講による修得単位や、学習履歴を記録する「県民カレッジカード」を発行して受講意欲を高め、学習活動を支援した。															
	<table><tr><th colspan="2">年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>カレッジカード 所有者数</td><td>総数</td><td>57,471</td><td>57,924</td><td>58,414 (1月現在)</td></tr><tr><td></td><td>うち新規</td><td>420</td><td>453</td><td>490 (1月現在)</td></tr></table>	年度		R3	R4	R5	カレッジカード 所有者数	総数	57,471	57,924	58,414 (1月現在)		うち新規	420	453	490 (1月現在)
	年度		R3	R4	R5											
	カレッジカード 所有者数	総数	57,471	57,924	58,414 (1月現在)											
		うち新規	420	453	490 (1月現在)											
・「マイページ会員」登録受講者を対象に、インターネット上で主催講座の申込みや学習履歴の確認ができるサービスを提供した。																
<table><tr><th>年度</th><th>マイページ会員数</th></tr><tr><td>R5</td><td>1,583 名(1月現在)</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,423 名(1月現在)</td></tr></table>	年度	マイページ会員数	R5	1,583 名(1月現在)	R4	1,423 名(1月現在)										
年度	マイページ会員数															
R5	1,583 名(1月現在)															
R4	1,423 名(1月現在)															

(3) 映像活用推進関係

項 目	実 績												
ふるさととやまの映像の制作と配信	・郷土学習教材の制作・配布 制作作品数 56 作品 DVD教材「越中横綱伝 梅ヶ谷と太刀山」 ・DVD教材「旬の映像」の制作 制作作品数 81 作品 富山の四季、祭り、文化等をテーマとした映像作品 ・「とやまデジタル映像ライブラリー」にてネット配信												
優秀映像鑑賞推進	・優秀映画上映会の開催 集会等で利用可能の上映権付き映像作品を上映 ○わくわくシアター（ハイビジョン学習室） ○親子シアター（ハイビジョン学習室） ○学遊祭映像上映（教育文化会館集会室） ○カレッジわくわくシアター（各地区センター） <table><tr><th>年度</th><th>開催数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>R5</td><td>72 回</td><td>1,356 名(1月現在)</td></tr><tr><td>R4</td><td>78 回</td><td>1,160 名</td></tr></table> (4 地区センターも含む)	年度	開催数	参加者数	R5	72 回	1,356 名(1月現在)	R4	78 回	1,160 名			
年度	開催数	参加者数											
R5	72 回	1,356 名(1月現在)											
R4	78 回	1,160 名											
映像の貸出等活用支援	・所蔵映像、機材の無料貸出 <table><tr><th>年度</th><th>映像貸出件数</th><th>視聴者数</th><th>機材貸出件数</th></tr><tr><td>R5</td><td>1,106 件(1月現在)</td><td>33,959 名(1月現在)</td><td>248 件(1月現在)</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,308 件</td><td>17,330 名</td><td>222 件</td></tr></table>	年度	映像貸出件数	視聴者数	機材貸出件数	R5	1,106 件(1月現在)	33,959 名(1月現在)	248 件(1月現在)	R4	1,308 件	17,330 名	222 件
年度	映像貸出件数	視聴者数	機材貸出件数										
R5	1,106 件(1月現在)	33,959 名(1月現在)	248 件(1月現在)										
R4	1,308 件	17,330 名	222 件										

4 令和6年度 実施講座

※ 講座数の()は内数で、対面受講に並行してオンライン自宅受講を行う講座数



5 令和6年度 予定

(1) 講座関係

項 目	予 定
夏季講座	・ 8月31日(土)に開催する予定である。
ウェルビーイング 実現講座	・「ウェルビーイング」をテーマとした、以下の6講座を開講する。 ○「地区センター講座」(4講座) 「地域、健康、居住、人間関係、自然」など各分野の観点から、ウェルビーイングを学ぶ。講座はオンラインでも配信し、自宅受講も可能とする。地区センター修了者は本部講座を先行予約できる。また、地区センター講座の学習内容は本部学遊祭でスライドや展示により発表する。 ○「本部講座」(2講座) 10月5日(土)および11月17日(日)に県外から著名人を招いて、総論的な内容で講演会を開催する。 ・各地区センターの1講座に加えて本部の2講座を修了した人には、「ウェルビーイングアドバイザー」の称号を授与する。
つながる学び わくわく講座	・体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する、以下の26講座を開講する。 ○「つながる体験コース」(8講座) 現地研修を取り入れたり、映像を視聴したりして、ふるさとの姿に触れることを重視する。 ○「つながるふるさと学びコース(地区単独型)」(17講座) 地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護などを扱う。グループ協議や意見発表会、作品発表等も取り入れ、交流型・発信型の講座とする。本コースすべての講座をオンラインで配信し、自宅受講も可能とする。 ○「つながるふるさと学びコース(地区連携型)」(1講座) 地域の魅力ある取り組みで活躍している人や組織の代表を講師として招き、オンライン配信も活用してその取り組みを広く県内全域に伝える。
共学講座	・ 4地区センター合わせ、120講座を開講する予定である。
映像センター講座	・ 映像センター講座を4講座開催予定である。

項 目	予 定
自遊塾	・ 86 講座の塾生を募集する予定である。
学習団体講座	・ 教養講座 4 講座、広域交流講座 1 講座の計 5 講座を開催する予定である。
連携講座	・ 関係機関へ連絡し、今年度と同程度の講座連携を目指している。

(2) 事業関係

項 目	予 定
本部学遊祭	・ 10 月 5 日（土）に、開催する予定である。
地区学遊祭・ キャンパス フェスティバル	・ 今年度同様に、次の期日に開催する予定である。 【新川】10 月 26 日（土） 【富山】11 月 2 日（土） 【高岡】10 月 25 日（金）・26 日（土） 【砺波】11 月 2 日（土）
カレッジ叢書	・ 令和 6 年度における大型講座についても、例年と同様に発行・配布する予定である。
学習活動支援 サービス	・ 受講者へサービスの紹介を行い、「県民カレッジカード」の所有者や新とやま学遊ネットにおける「マイページ会員」の増加を図る。

(3) 映像活用推進関係

項 目	予 定
ふるさととやまの 映像の制作と配信	・ 郷土学習教材を制作・配布 ・ 貴重映像の保存・活用推進 ・ 「とやまデジタル映像ライブラリー」の更新
優秀映像鑑賞 推進	・ 上映会（無料）を年間、約 70 回開催予定である。
映像の貸出等活用 支援	・ 貸出が増えるよう PR に努める。

Ⅱ 富山県民生涯学習カレッジの運営に係る現状と課題

1 学習情報の収集・提供と学習相談への対応について

<現 状>

項 目	実 績			
学習情報提供	・富山県生涯学習情報提供システム(とやま学遊ネット)を運用し、県民に各種講座等の学習機会・講師・学習団体など、生涯学習情報を提供した。			
	年度	R3(年間)	R4(年間)	R5(4~1月)
	検索件数	775,280件	929,419件	(687,732件)
学習相談	・各種講座の受講相談や、講師照会・講座内容の企画相談、視聴覚教育・機材の利用、映像制作等についての県民からの相談に対応した。			
	年度	R3(年間)	R4(年間)	R5(4~1月)
	学習相談件数	10,887件	13,387件	(11,655件)

<課 題>

(1) 「とやま学遊ネット」を活用し、学習情報提供をより充実させること

令和4年3月に「とやま学遊ネット」を全面的に新しく構築した効果があり、令和4年度のアクセス数は前年の2割増しとなった。しかしながら、令和5年度はそれを下回る見込みである。県の生涯学習情報提供システムとして、データベースの検索件数が伸びている一方で、県民カレッジ本部および各地区センターのホームページに対するアクセス数が伸び悩んでいる。

今後の社会において、インターネットによる生涯学習情報の提供はますます重要性を高めるものと思われ、「とやま学遊ネット」を活用した県民カレッジからの情報発信のあり方を検討する必要がある。

(2) 学習相談の一層の充実を図ること

県民からの学習相談は、本部及び4地区センターにおいて、来所、電話、メール等によって実施している。その件数は、コロナの影響下から回復傾向にあり、令和5年度はほぼコロナ禍前の状況に戻っている。全体の6割余りを占める来所による学習相談の機会も確保できている。

全体に占める割合はまだ少ないが、近年増加傾向にあるメールによる問合せについても、迅速かつ丁寧な対応を心がけたい。

○学習相談内訳件数の推移

年度		R3(年間)	R4(年間)	R5(4～1月)
学習相談件数		10,887(100%)	13,387(100%)	11,655(100%)
内 訳	来 所	6,773(62.2%)	8,216(61.4%)	7,336(62.9%)
	電 話	3,351(30.8%)	4,052(30.3%)	3,166(27.2%)
	メール等	763(7.0%)	1,119(8.4%)	1,153(9.9%)

2 多彩な学習機会の提供について

<現 状>

項 目	実 績						
夏季講座	令和5年8月26日(土)に宇宙飛行士の毛利衛氏を招き、「宇宙から見た地球生命の繋がり」と題して講座を開催した。 <table> <tr> <td>受講者数</td><td>484 名</td></tr> </table>	受講者数	484 名				
受講者数	484 名						
ウェルビーイング実現講座(大型)	「ウェルビーイング」をテーマに著名人の講義を聴き、これからの時代の生き方を大きな視点で考える講座を開講した。 - 令和5年度は、砺波地区センターが7月8日(土)に富山県知事の新田八朗氏、本部が10月7日(土)に大相撲解説者の舞の海秀平氏、11月25日(土)に作家・歴史家の井沢元彦氏を講師として招いて開催した。 <table> <tr> <td>講座数</td><td>3 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>1,115 名</td></tr> </table>	講座数	3 講座	受講者数	1,115 名		
講座数	3 講座						
受講者数	1,115 名						
ウェルビーイング実現講座(通年)	- 地域、健康、居住、人間関係、自然など各分野の観点から、ウェルビーイングを学ぶ講座を各地区センターで開催した。 - 全講座をオンラインで配信した。 <table> <tr> <td>講座数</td><td>4 講座(うちオンライン配信4講座)</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>139 名(うちオンライン受講17名)</td></tr> </table>	講座数	4 講座(うちオンライン配信4講座)	受講者数	139 名(うちオンライン受講17名)		
講座数	4 講座(うちオンライン配信4講座)						
受講者数	139 名(うちオンライン受講17名)						
つながる学びわくわく講座	- 体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する講座として、「つながる体験コース」および「つながるふろさと学びコース(地区単独型)(地区連携型)」を開催した。 「つながるふろさと学びコース(地区単独型)」は、すべてオンラインで配信し、自宅受講が可能な受講形態とした。 <table> <tr> <td>講座数</td><td>28 講座(うちオンライン配信19講座)</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>889 名(うちオンライン受講111名)</td></tr> </table>	講座数	28 講座(うちオンライン配信19講座)	受講者数	889 名(うちオンライン受講111名)		
講座数	28 講座(うちオンライン配信19講座)						
受講者数	889 名(うちオンライン受講111名)						
共学講座	高校の授業の一部の科目を、社会人向けに提供し、受講者が高校生と共に学んだ。 <table> <tr> <td>講座数</td><td>120 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>620 名</td></tr> </table>	講座数	120 講座	受講者数	620 名		
講座数	120 講座						
受講者数	620 名						
映像センター講座	映像制作セミナー、著作権講座などを開催した。 <table> <tr> <td>開催数</td><td>4 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>67 名</td></tr> </table>	開催数	4 講座	受講者数	67 名		
開催数	4 講座						
受講者数	67 名						
自遊塾	公募によるボランティア講師(県民教授)が講座を開設し、塾生とともに学びあう講座を開催した。 <table> <tr> <td>県民教授</td><td>63 名</td></tr> <tr> <td>開催講座数</td><td>83 講座</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>1,138 名</td></tr> </table>	県民教授	63 名	開催講座数	83 講座	受講者数	1,138 名
県民教授	63 名						
開催講座数	83 講座						
受講者数	1,138 名						
学習団体講座	生涯学習協議団体に委託し、各地区の教養講座(4講座)と全県対象の広域交流講座(1講座)の計5講座を開講した。 <table> <tr> <td>受講者数</td><td>448 名</td></tr> </table>	受講者数	448 名				
受講者数	448 名						

<課 題>

(1) 県民の学習ニーズに対応した講座を開設し、主催講座の受講者数を増やしていくこと

県民の学習ニーズを踏まえて、令和5年度においては、新設の「ウェルビーイング実現講座」など、主催講座を併せて248講座を開設した。コロナ禍前より30講座程度減少しているのは、ボランティア講師による自遊塾の講座数が回復していないことが大きい。自遊塾は近年活発に活動している出前講座や、来年度の開講30周年記念事業などを通して、広く県民にその存在をアピールすることとしている。

また、受講者数で見ると、ホールで講演会を開催する大型講座は、コロナが5類に移行したことや、新聞広告、チラシの折り込みなどによる周知の効果もあり、昨年度より4割近く増えた。主催講座全体についても、コロナ禍前の5千人台まであと一歩のところまで回復している。今後、県民の各種学習ニーズに対応した講座の特色化に努め、受講者数の増加を図る必要がある。

○講座開講数・受講者総数の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
講座開講数	275	69	249	245	248
受講者総数	5,375	2,014	3,576	3,952	4,900

(2) 現役世代の受講者を増やしていくこと

主催講座の受講者の年齢分布について、令和5年度を令和4年度と比較すると、1回ずつ参加できる土日開催の大型講座は現役世代が一定割合を占めるものの、通年で開催している講座は70歳代以上の受講者が半数以上を占めている。

今後、通年講座も特に土日開催のものは内容を現役世代向けに工夫することで、若い世代にカレッジの魅力を伝える必要がある。

○年代別講座受講者割合(%)

			50歳代以下	60歳代	70歳代以上
大型講座	夏季講座	R5	43	22	35
		R4	26	32	42
	ウェルビーイング実現講座	R5	24	30	46
		R4	25	32	43
通年講座	ウェルビーイング実現講座	R5	5	37	58
		R4	2	20	79
	自遊塾	R5	9	32	59
		R4	11	32	57
	学習団体講座	R5	1	21	79
		R4	1	23	75

(3) 新しい学び方を提供すること

コロナ禍を機に始めたオンライン配信であるが、自宅で学べる第2の学び方として定着しつつある。受講者全体に占める割合は少ないものの、アフターコロナの社会においても、これまで家庭の事情や交通の便を理由に受講を諦めていた層に提供できる方法である。

3 映像による学習支援について

<現 状>

項 目	実 績												
映像の貸出等 活用支援	・ 学習教材等の貸出 ※所蔵学習教材数 約 11,000 タイトル												
	<table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5 (1 月末)</td></tr><tr><td>貸出本数</td><td>1,429 本</td><td>1,308 本</td><td>(1,106 本)</td></tr><tr><td>視聴者数</td><td>25,907 人</td><td>17,330 人</td><td>(33,959 人)</td></tr></table>	年度	R3	R4	R5 (1 月末)	貸出本数	1,429 本	1,308 本	(1,106 本)	視聴者数	25,907 人	17,330 人	(33,959 人)
	年度	R3	R4	R5 (1 月末)									
	貸出本数	1,429 本	1,308 本	(1,106 本)									
	視聴者数	25,907 人	17,330 人	(33,959 人)									
・ 「とやまデジタル映像ライブラリー」 視聴可能件数 2,078 タイトル													
・ 映像センターYoutube チャンネルの開設 視聴可能件数 20 タイトル													
優秀映像鑑賞 推進	・ 優秀映像上映会の開催 (ハイビジョン学習室、各地区センター)												
	<table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5 (1 月末)</td></tr><tr><td>開催数</td><td>52 回</td><td>78 回</td><td>(72 回)</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>793 人</td><td>1,160 人</td><td>(1,356 人)</td></tr></table>	年度	R3	R4	R5 (1 月末)	開催数	52 回	78 回	(72 回)	参加者数	793 人	1,160 人	(1,356 人)
	年度	R3	R4	R5 (1 月末)									
	開催数	52 回	78 回	(72 回)									
参加者数	793 人	1,160 人	(1,356 人)										
ふるさととやま の映像制作	・ ふるさと富山の自然や文化に関する学習に活用できる郷土学習教材 「越中横綱伝 梅ヶ谷と太刀山」 全国全国自作視聴覚教材コンクールへの出品 (R4 優秀賞) 「とやまの橋 ～人々の願い・記憶のメモリアル～」 (R3 優秀賞) 「水の王国とやま 命をつなぐ水を未来へ」 など 56 作品												

<課 題>

(1) 映像学習教材等の新たな利用者を一層増やしていくこと

コロナ禍を経て貸出の利用が戻りつつある。著作権意識の高まりもあり、学校や公民館等での上映利用の需要は根強い。また、カレッジ作成のサイト「とやまデジタル映像ライブラリー」など活用してもらっているが、配信が主流になりつつある昨今の状況を踏まえると、著作権に配慮しつつ、さらに充実を図る必要がある。

(2) 映像配信による映像学習教材の新たな利活用を一層推進していくこと

1人1台端末が整備された学校現場において、配信している豊富な地域映像の利活用をさらに推進していきたい。地域学習の際の調べ学習等に使ってもらえるように広報活動を進める。また、郷土学習教材の有用性などを、機会をとらえて周知に努める。

(3) 優秀映像上映会の新たな参加者を一層増やしていくこと

定期上映会「わくわくシアター」は、土曜日 2 回、水曜日 1 回の月 3 回の実施とし、子供と保護者を対象とした「おやこシアター」は夏期と冬期に 2 回ずつ、年 4 回実施した。参加者数は本部・各地区センターとも昨年度の実績を上回った。より興味関心の高い内容や参加しやすい実施日時など、ニーズを見極めていきたい。

(4) 映像センター施設の新たな利用者を一層増やしていくこと

映像編集用の PC を備えた映像工房は利用可能日の稼働率は 7 割程と高いが、利用者の固定化の傾向が見られる。また、ハイビジョン学習室の利用も回復してきている。設備を一部新しくしたスタジオを含めてより広く PR を行い、さらに需要の掘り起こしを行う。

(5) 制作する映像教材のテーマ・内容を検討すること (3 年計画)

〈過去のテーマ〉横綱、橋、水、藤井能三、川、曳山、富山湾、売薬、米澤紋三郎 など

4 学習交流や学習成果の発表の支援について

<現 状>

項 目	実 績					
本部学遊祭	・10月7日(土)に開催した学遊祭は、県民カレッジ、生涯学習団体協議会、雷鳥会が共催し、県民に対して学習の成果を発表した。ホールでは、「ウェルビーイング実現講座」も行った。					
		式 典	発 表	講演会	展 示	上映会
	参加者	45 名	363 名	395 名	114 名	62 名
地区学遊祭・ キャンパス フェスティバル	・各地区センター講座の受講者等が、日頃の学習の成果を発表することで交流した。					
		新 川	富 山	高 岡	砺 波	総数
	参加者	859 名	296 名	768 名	417 名	2,340 名

<課 題>

(1) 学遊祭、キャンパス・フェスティバルへの参加者を増やしていくこと

本部、地区センターとも、令和2年度からはコロナの影響を大きく受けた。大勢の人数が集まるイベントに対する県民の不安が高まったこと、ステージ発表やお茶会などの内容を取りやめたこともあり、参加者数が大きく減少した。

令和5年度、本部ではホールでのステージ発表を復活させたり、地区でも入場制限を撤廃したりして、参加者数は大きく増えたものの、まだ来場者数はコロナ禍前の6割程度に止まっている。交流の場が十分に確保できないことを残念に思う県民も多く、今後、さらに運営のあり方を工夫し、参加者を増やしていく必要がある。

○参加者数の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
県民カレッジ本部	1,480	686	472	578	979
4地区センター	4,068	1,934	1,092	1,215	2,340
合 計	5,548	2,620	1,564	1,793	3,319

(2) 発表団体が参加できる交流の場を提供すること

ステージ発表や展示等を通じた学習交流は、学遊祭・キャンパス・フェスティバルの大きな柱の一つであるが、コロナ禍の間、ステージ発表を取りやめたこともあり、今年度になっても発表を見合わせる団体が多くあった。

一方で、ここでの発表を一つの目標として日々の活動に励んでいる団体・講座もあり、今後、どのように発表団体を多く呼び戻すことができるかが課題である。

○本部学遊祭への発表団体の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
ステージ発表団体	13			3	6
展示発表団体	14	3	7	7	5
合 計	27	3	7	10	11